

奈義町教育委員会通信

Nagi Town Board of Education News

発行：奈義町教育委員会 学事課

No.7 令和3年6月1日号

～夢に向かって自ら学び ともに高め合う「なぎっ子」～

教育委員会の取り組みを保護者の皆さまに、より身近にお届けする「教育委員会通信」。今回は、小学校・中学校での「**GIGA**（ギガ）**スクール**の取り組み」、「緊急事態**宣言延長**」に関するお知らせです。

文房具のひとつとして“一人一台パソコン” 各クラスで新しい風景が生まれています

昨年度、小中学校に整備した「無線インターネットの通信環境」と、児童生徒1人1台の「タブレット型ノートパソコン」などを活用した授業や、取り組みの一部をご紹介します！



教師用タブレットの「**デジタル教科書**」や、子どもたちの作品等を「**教材提示装置**」から**プロジェクターで大きく投影**したり、映したものに書き込んだり、授業の内容に合わせてICT機器を活用しています。

今年度、児童生徒用「**デジタル教科書実証事業**」の**モデル校**に選ばれ、小学校5・6年の社会科、中学校全学年の英語科のデジタル教科書を、1年間の無償貸与を受けて授業で活用しています。



モニターに大きく表示させて
ダイナミックに漢字の練習中!!

AIドリル(タブレット版のドリル教材)を朝学習や授業の**空いた時間で…**。
自分で教科や学年を選択し、予習・復習問題に挑戦しています！



家庭学習での活用についても、積極的に取り組んでいます。
前年度、**フィルタリング付きのウイルスソフトを導入**、充電保管庫用とは別に**充電器**を(県下でも先駆けて)**整備**し、いつでも持ち帰りができるよう準備を進めました。今年度、中学生と小学5・6年生は早速端末を持ち帰り、自宅の**Wi-Fiに接続**してみたり、**AIドリル**や**調べ学習等**をしてみたり、**家庭で活用することにチャレンジ**しています。週明けには、充電をして持ってくるよう指導していますので、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

個別にGoogleのアプリを活用してアンケートやプレゼンテーション資料を作成し、生徒同士で発表し合っています。

教員間で、活用する方法を学び合う小学校内新聞「NAGIGA-News」。中学校にも情報共有をはじめました。また、先駆的なICT導入をしてこられた林野高等学校の元校長**三浦隆志先生**を講師にお願いし、授業でICTをより良く活用するための研修を計画するなど、**先生方もスキルアップ**に取り組んでくださっています。

教育委員会通信では、今後も活用の様子など、適宜お知らせしていきます!!



新型コロナ 岡山県への「緊急事態宣言」延長により

もうしばらくの自粛生活・・・再度引き締めて“我慢”しましょう



国は5月28日、岡山県を含む9都道府県に発令中の「**緊急事態宣言**」の期限を**6月20日まで延長**する決定をしました。県内では、新規感染者数が一時的に減少したものの、病床使用率、10万人あたり療養者数は「ステージ4(爆発的感染拡大)」の基準を上回っており、予断を許さない状況です。

宣言の延長を受け、町教育委員会では、多くの利用が見込まれる**施設の休館を延長、水泳授業の開始時期も遅らせる**ことを決定しました。保護者の皆さまには、引き続き、子どもたちの健康観察を実施していただき、発熱や倦怠感等の風邪症状時の「**登校自粛**」や、感染拡大地域への不要不急の「**往来自粛**」など、感染の拡大防止にご協力をお願い致します。

【当面の主な対応】

- ・現代美術館・図書館、ビカリアミュージアム・・・**6/21(月)まで休館**(図書館はWeb、電話予約で受取可)
- ・海洋センター、運動公園・・・町内者及びスポーツクラブ会員のみ利用可(6/20(日)まで、**20時閉館**)、プール**利用不可**
- ・文化センター・・・町内者及び各種文化教室利用者のみ利用可(6/20(日)まで、**20時閉館**)
- ・幼稚園、小・中学校水泳授業・・・緊急事態**宣言期間中は実施しない**(以降、実施に向けて検討中)

👉 学校生活の様子なども掲載中!お友達にもシェアしてくださいね👉

「奈義町教育委員会」更新中!

●問い合わせ先 奈義町教育委員会 学事課(文化センター内)

Tel: 0868-36-4195 / E-mail: kyouiku@town.nagi.lg.jp



今週のピックアップ!

「ニユルっとしておもしろいね!」

～奈義町教育委員会 Facebook より～

5月26日、町立幼稚園の年長児が「どろんこ遊び」をしました。

子どもたちは小学校北側の田植え前の田んぼに到着。期待と共に少しだけ緊張感をもちながらいざ…。「ドボン!」と勢いよく入る子、「そろーり…」と入る子、一人ひとりの個性が見られました。「ひゃー、足が沈む!」「ヌルヌルする～」と初めは戸惑いも見られましたが、あっという間に「あっちに行ってみようや!」とぬかるむ中、走り出す子ども達。ソリに友達を乗せて引っ張ったり、交代でお客さんになったり、思い思いの楽しみ方をすることができました。



例年より早い梅雨入りで天候の心配もしましたが、雄大な那岐山の麓で貴重な体験をすることができました。自分たちが小学生になり「田植え体験」をする時に思い出してくれるかな…?(抜粋して掲載しています)